

「医療安全」教育フォーラム

日本医療マネジメント学会
第12回九州・山口連合大会先行事業



医療安全係長
たなべ とみえ
田邊 富江



11月24日(土)当センターの研修ホールで、
来年度に下関で開催する日本医療マネジメント学会
第12回九州・山口連合大会の先行事業として
「医療安全」教育フォーラムを開催いたしました。

講師には
独立行政法人国立病院機構
長崎川棚医療センター
院長 宮下光世先生をお招きし、
「医療コンフリクト・マネジメントについて」と
いうテーマでグループワークを取り入れた講
義を約2時間半にわたり行なって頂きまし
た。



人には多様な受け止め方があることを説く
宮下光世先生

「医療コンフリクト・マネジメント」という言葉が聞き慣れない方も多いと思います
ので少し説明をさせていただきます。

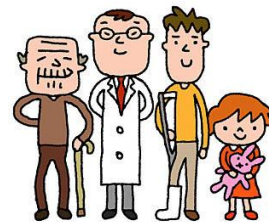


グループワークを通じて
医療コンフリクトがなぜ起こるか体験

まず「医療コンフリクト」とは、予測した結果と実
際に行なわれた医療の結果が違うときに、医療者
から十分な説明があり患者様やご家族の同意と
納得があったとしても、患者様やご家族の立場で
はその事実をなかなか受け入れがたくなり、現実
にはさまざまな**不満の感情**が沸き起こることを指し
ます。

そして「医療コンフリクト・マネジメント」とは、対話を通して協働的かつ柔軟に解
決していこうとする考え方になります。

患者様は『治りたい』という気持ちでおられますし、医療者は『治したい』という気持ちで医療を行います。お互いが満足した医療となるように、**傾聴と共感**を大切にしたコミュニケーションをおこなっていくことが必要となります。



3連休の中日で天候も悪かったのですが、鹿児島県や大分県など遠方からを含め、**68名**もの受講生の参加がありました。

[Back](#)